



学校の教育目標

勝浦に学び夢に向かって未来を創る子供の育成

教育課題

- 人間関係の固定化
- 学びの基盤としての規律
- 状況を把握しての行動
- 自力解決する意識

経営課題

- 個々の実態に応じた指導・支援
- 保護者、地域との考え方の共有
- 関わる大人の学びを支える意識
- 主体的に学ぶ仕組みづくり

令和7年度重点方針

一人一人の子供を理解し、多くの視点で子供を育てる教育活動の充実  
【育てたい資質能力】 **主体性** **協働性**

めざす子供像

- ・互いの違いを認め合い、自分でできることは自分で、できないことは助け合ってやり方を考え、見つけ、やってみる子供

めざす学校像

- ・地域・家庭と目的を共有した活動の実施
- ・児童の状況を把握し個に応じた支援を行なう
- ・関係機関等と共に学び続ける大人を増やす

めざす家庭像

- ・地域・学校と協働する家庭
- ・良い習慣をつくる家庭
- ・児童を信頼し見守る家庭
- ・連携・協働しながら規範意識や社会性の育成や家庭学習の習慣

めざす地域像

- ・子供の活動を支える地域
- ・子供の学びの場としての地域
- ・子供と共に活動する地域  
「地域の子供は地域で育てる」

みんなでハッピーに

- 「やってみよう！」  
(主体性・自己実現)
- 「ありがとう！」  
(つながり・協働性・感謝力)
- 「なんとかなる！」  
(前向き・楽観)
- 「ありのまま！」  
(自分らしさ・潜在能力)

【重点1】

一人一人の子供を理解する

- ・個別の支援シート等を活用し、児童一人一人の活動目標を明確にする。
- ・子供との対話を通し、本人が目標達成に向けて、自ら活動に取り組むことができるように支援する。

【重点2】

多くの視点で子供を育てる

- ・近接学年、関係職員等との情報共有を重視し、相互に連携した教育活動を行う。
- ・教育支援会議や研修を通じて、校外の専門家との情報共有により児童の実態に応じた支援を行う。

自己指導能力の獲得を支える「4つの視点」を踏まえた授業づくり

- ・自己存在感の感受  
ひとりの人間として大切にされている
- ・共感的な人間関係の育成  
失敗を恐れない・間違いを笑わない
- ・自己決定の場の提供  
自ら考え、選択し、決定する
- ・安心・安全な風土の醸成  
個性や多様性を認める